

KCガード $\alpha$  コンクリート構造物劣化抑制工法資料

# KT-C SYSTEM

水酸化カルシウム系含浸材 + けい酸塩系含浸材

**KT-C** + **KCガード $\alpha$**

○ 工法概要

水酸化カルシウムが減少したコンクリート表層にKT-Cを含浸することによりKCガード  $\alpha$ （けい酸塩系含浸材）の反応を促進し、充填率を向上させます。

○ 目的

- ・ コンクリート構造物の表面保護
- ・ コンクリート構造物の鉄筋腐食抑制、保護

○ 使用材料

1. 水酸化カルシウム系含浸材（反応促進材）

- ・ 製品名       KT-C
- ・ 主成分       水酸化カルシウム

含浸効果

- ・ コンクリート構造物表層のアルカリ付与
- ・ けい酸塩系含浸材の反応促進材

2. けい酸塩系含浸材

- ・ 製品名       KCガード  $\alpha$
- ・ 主成分       けい酸ナトリウム・けい酸リチウム

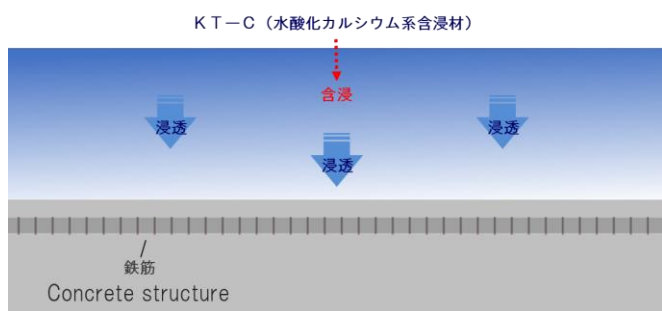
含浸効果

- ・ KCガード  $\alpha$  はけい酸塩（けい酸ナトリウム・けい酸リチウム）と副成分を混合した複合型けい酸塩系表面含浸材です。
- ・ 無機質含浸系でコンクリート基材の微細な空隙に含浸し、基材表層部の組織を改質緻密化します。
- ・ KCガード  $\alpha$  はコンクリート表層部に浸透して透水抑制層を形成します。
- ・ KCガード  $\alpha$  は水と塩化物イオンの基材への浸透を抑制して鉄筋への到達を抑制します。
- ・ KCガード  $\alpha$  はコンクリートの表層部を改質緻密化し老朽化を遅らせます。

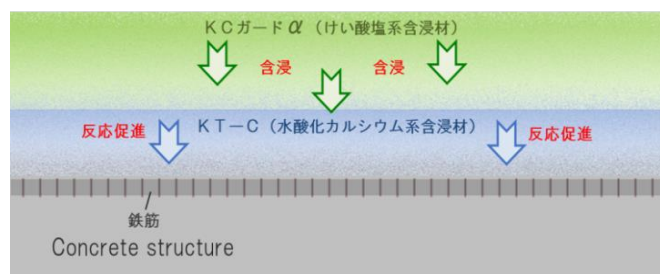
KT-C（水酸化カルシウム系含浸材）+KCガード  $\alpha$ （けい酸塩系含浸材）

## ■ システム概要

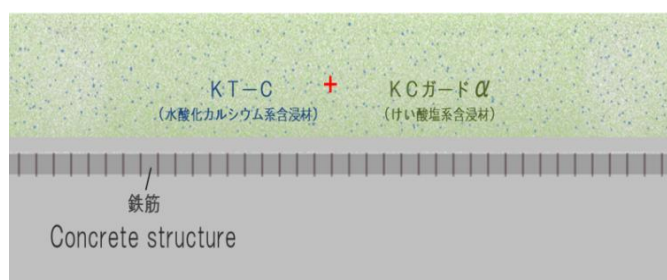
- ・コンクリート構造物の寿命は一般的に50年といわれています。高度経済成長期に建設されたコンクリート構造物が現在その寿命を迎えています。
- ・既存のコンクリート構造物を壊して新設するのではなく、保護、補修して長寿命化を図っていく事が求められています。
- ・新設、既設を問わず、コンクリート構造物に対し、耐久性を向上させるひとつの手段として、コンクリート表面にKCガード $\alpha$ （けい酸塩系含浸材）による保護層を設ける表面保護工法が実施されています。
- ・表面保護工法の中でも構造物の外見を変えずに構造物の性能を向上させることが可能で施工性や経済性に優れた表面含浸工法が注目されています。
- ・中性化の進行したコンクリート構造物表層など水酸化カルシウムが減少したコンクリートにはKCガード $\alpha$ （けい酸塩系含浸材）含浸する前処理としてKT-C（水酸化カルシウム系含浸材）を含浸塗布することにより、アルカリ成分を付与するとともに、KCガード $\alpha$ （けい酸塩系含浸材）の反応を促進し、充填率を向上させます。
- ・塗装の塗り替えにおいても塗装工程の前処理として、劣化の進行したコンクリート表層部に含浸材を塗布しアルカリ付与するとともにコンクリート表層部を改質緻密化することにより構造物の劣化進行を抑制し、表面の塗装効果も長く持続し、コンクリート構造物の長寿命化が図れます。



1. KT-C 含浸



2. KCガード $\alpha$  含浸



3. KT-C + KCガード $\alpha$  反応



KT-C と KCガード $\alpha$  が反応し  
コンクリートを緻密化!

## ■ 関連材料

工 程	使用材料	標準使用量 ( g / m <sup>2</sup> )	塗装方法	備考
1	KT-C	200	刷毛・ローラー・噴霧器	水酸化カルシウム系含浸材
2	KCガード $\alpha$	180	刷毛・ローラー・噴霧器	けい酸塩系含浸材

■ 施工フロー

